

## 【熊本S. J. C. D. 例会 抄録】

**演 題** パーシャルデンチャーからインプラント支台のオーバーデンチャーへと移行した症例

**演者名** 添島義樹

**日 付** 2006年9月26日

### keywords

1. 欠損補綴
2. 治療法の選択
3. インプラント支台のオーバーデンチャー

### 抄 録

多数歯欠損に対する補綴設計は患者の局所的、全身的条件、社会的背景によって大きく左右されます。術者は患者の現在の状況と欠損に至った要因を把握した上で、将来的に起こり得る口腔内の変化を見越した治療計画を立案し提示します。しかし、提示した内容と患者の要望が合致することはごく稀であり、日常臨床の多くは患者の許容できる条件の中で治療方法を選択していかなければなりません。

今回、下顎両側遊離端欠損のパーシャルデンチャーからインプラント支台のオーバーデンチャーへと治療を継続していた症例を報告します。諸先生方のご意見、ご指導をよろしくお願いします。